

OXFORD大学日本科

一. 機関の概要

所在地

Oriental Institute, Pusey Lane, Oxford

OX1 2LE UK

TEL. 01865-278200 FAX. 01865-278190

1963年に独立した学科として発足。Oriental Institute(1960年設立)内にある。学生は39あるCollegeのいずれか(実際は東洋学の教官のいるCollegeに集中する傾向があるが)に属して起居し、日本語、日本文学、日本史などの授業を受け、Instituteにやって来る。各学生は、下記三のLecturerのどれかの指導下に入る。三年生で専攻科目を決め、文学、言語学、思想史などをとる者はOriental InstituteのLecturerの、政治学、歴史、経済学などを専攻する者はNissan Institute(1981年設立)のLecturerの指導を受ける。

四年間のBAコース。一年生は3学期目に関西学院大学で13週間の語学研修を行うことが義務づけられている。また三年目を終了後、一年間の日本留学が認められており(行き先は京大、お茶の水大、早大などの大学が主だが、学生の希望で日本企業、イギリス企業の日本支社などに配置されることもある)、毎年ほとんどの学生が留学するので、実質は五年コース。

二. 学生数(2000.6現在)

一年生	10名	二年生	10名	三年生	20名
日本留学	12名	四年生	12名		

三. 教師数(同上)

Lecturer 4名。それぞれKeble、Queen's、Pembroke、Hertford CollegeのFellowshipを持つ。

日本語Instructor 3名

Unseen Translationを除き、この3名が現代日本語教育全般を担当する。それぞれ、週15-20時間の授業を受け持つ。

四. 学期

Michaelmas Term, Hilary Term, Trinity Termの3学期よりなる。各学期は8週間。

五. 現代日本語クラスの概要

1. 授業の種類と授業数

()内の数字は各学生の週あたりの授業数。1コマ55分。

一年生

Exercise (5)、会話(1) Reading(1), Writing(1) L.L.(1) 漢字(1)

二年生

Exercise(2)、会話(1)、漢字(1)、Prose Composition*(1)
Unseen Translation**(1)

三、四年生

会話(2)、漢字(1)、Prose Composition (1)、 Unseen Translation (1)

* 英文和訳と作文。

** 初見の日本語の文章を英訳する。

三年目に近代文学、古典文学、演劇、社会学、経済学などから専攻科目を選ぶ。

四年生の授業内容はほとんど卒業試験の準備。

2. 教材

一年生はCommunication Japanese Style I (東京日本語学校編)を使用。二年生のExerciseと会話の一部に「生きた素材で学ぶ中級から上級への日本語」(ジャパントイムズ)、三年生の会話の一部にFormal Expressions for Japanese Interaction (ジャパントイムズ)を使用。二、三年の定期漢字テスト用にA New Dictionary of Kanji Usage (学研)を使用。

四年生のProse Compositionは、過去の試験問題を中心に扱う。

その他は各Instructorが作成した教材、新聞記事、テレビ番組の録音、録画テープなどの生教材、既製の教科書から抜粋した教材を使っている。

六. 試験

主な試験は二年の三学期に行われるFirst Public Examinationと四年の三学期のSecond Public Examinationのふたつ。一年生は二学期終了時にQualifying Examinationを受け、得点が60%以下の場合、再試験を受けなければならない。

七. その他

1. 日本語に興味を持つ他学部の学生のためにNon Intensiveクラスを3段階、設けている。各、週2時間の授業。使用教材は「みんなのほんご初級I、II」。
2. 中国科の学生は特別課目として日本語を選択でき、50時間で基礎文法を習得する。使用教材はJapanese for Today。